

授業案

「よりよい消費生活を目指して～フェアトレードについて考えよう～」

パワーポイント

フェアトレードについて、授業で生徒に説明するためのパワーポイントを作成しました。県民生活センターの「やまなしの消費者教育」からダウンロードできます。教員の説明のポイントについても、右側に書いてあります。



今日は、チョコレートから、私たちのよりよい消費生活について考えていきます。



チョコレートを買いたくて売り場に行ったら、こんなマークが付いているチョコレートを見つけました。このマークを見たことはありますか？ どんな意味のあるマークだと思いますか？



クイズ「このマークは何だろう」
～ のうち、答えはどれでしょうか？ 答えは ③ で、これはフェアトレードマークといえます。

フェアトレード (fair trade)とは

fairtrade: 公正な貿易

経済先進国と開発途上国との貿易では、立場の弱い開発途上国が不利になる場合がある。

不公正な価格の貿易から生まれる経済的貧困を解消するのがフェアトレードである。



フェアトレードとは何でしょうか？ Fair trade は、公正な貿易と訳すことができます。経済先進国と開発途上国との貿易では、立場の弱い開発途上国が不利になる場合があります。日本のような経済先進国で安く商品売るために、その商品の原料をつくる開発途上国の生産者に、安い賃金しか渡さないということがおきています。

フェアトレードは、開発途上国で原材料を生産している人と、公正な取引を行うためにつくられたしくみです。フェアトレードについて、もう少し詳しく学んでいきましょう。

100円のチョコレートの内訳



価格100円のチョコレートの内訳を見てみると、生産者の手に届くお金は、たった1～3円ほどしかありません。このような低い収入では、生産者の暮らしはとても貧しいものになってしまいます。

私たちが買う安い商品の裏側には、開発途上国の生産者の暮らしを、貧しくしていることがあるのです。

経済的貧困

地球には多くの貧しい国があり、朝から晩まで過酷な労働をしても、低賃金しかもらえないことがある。生活のために働かされ、学校に行けない子どもたちもたくさんいる。

もらえるお金が少ない

児童労働

学校に行かない子どもたち

開発途上国での経済的貧困が問題になっています。貧しい国の人々は、朝から晩まで過酷な労働をしても低賃金しかもらえないことがあります。それでは、家族の暮らしは支えられません。そのため、幼い子どもたちも働かされることがあります。生活のために、子どもたちは学びたくても学校に行くことが出来ません。

フェアトレードのチョコレートが作られるまで

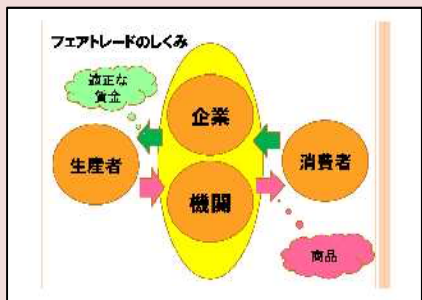


カカオの実はカカオポットといい、長さ20cmほどのラグビーボールのような形をしています。

チョコレートの原材料はカカオ豆です。カカオの実はカカオポットといい、長さ20cmほどのラグビーボールのような形をしています。



実の中の白いものはパルプ（果肉）に包まれた種。パルプとともに発酵させます。発酵してパルプが溶けて染みこんだ種を乾燥させるとカカオ豆になります。それを出荷します。出荷されたチョコレートは、工場加工されます。



フェアトレード商品は、生産者から企業や機関を通して消費者に届けられます。その代わりに、消費者は企業や機関へ、企業や機関は生産者へとお金を支払います。



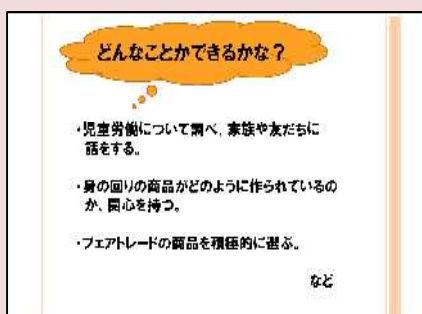
フェアトレードマークのついた商品のことを、フェアトレード認証商品と言います。そのフェアトレード商品には、食べ物ではカカオ製品のチョコレートやココア、果物やジャム、飲み物には、コーヒーや紅茶などがあります。みなさんはフェアトレード商品を見たことがありますか？



「買い物はお金の投票」です。いろいろな商品が売られていますが、あなたが1つの商品を選ぶと、それを作っている会社や売っている会社にお金が入ることになります。

皆さんはどんな商品を選びますか？会社は、私たちから「お金の投票」による支持を得られる商品を作ります。

「買い物はお金の投票」ということを考えたら、あなたはどのような商品を選びたいですか？



今日は、フェアトレードについて学びました。私たちはこれからどんなことができるでしょうか。私たちができる行動の例を考えてみて、よりよい消費生活につなげていきましょう。